



シマダヤ株式会社は、政府主催の豊かな低炭素社会を目指すキャンペーン「Fun to Share」に参加しています。



おいしい笑顔をお届けします

# シマダヤ株式会社

## 人事総務部

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-33-11  
TEL:03-5489-5511/FAX:03-5489-5507  
<http://www.shimadaya.co.jp/>

# シマダヤグループ 2014 社会・環境報告書



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



グリーンプリンティング認定制度を取得している工場での印刷を行っています。



印刷時に有害な物質を含む浸し水が不要な、水なし印刷を採用しています。

# おいしい笑顔をお届けします

これは、私たちシマダヤの経営コンセプトです。たくさんの人に「おいしい!」の笑顔をお届けしたい。  
 私たちシマダヤは、安全・安心でおいしい商品を皆様にお届けするために、  
 社員一丸となって、その実現に向け全力で取り組んでいます。



シマダヤ  
研究開発部  
八尾 藍

チャレンジ精神



シマダヤ  
家庭用冷凍営業部  
照井 駿

食卓に笑顔をお届けしたい!



シマダヤ  
業務用首都圏営業部  
右:橋本 夏夢  
左:内藤 歩

笑顔あふれる会社

東京シマダヤ  
製造課  
柴田 雅太郎



おいしい笑顔ほしい!



シマダヤ  
研究開発部  
澤口 慶貴

次世代に向けた  
麵の開発!



最高の笑顔でお迎えします

東京シマダヤ  
総務部  
右:島崎 友希  
中央:石崎 洋子  
左:古賀 菜摘紀



シマダヤ  
業務用生産・物流部  
山中 達也

笑顔は最高の調味料



シマダヤ  
家庭用首都圏営業部  
古野 雄大

麺といったらシマダヤ!



東京シマダヤ  
製造課  
右:濱田 智之  
左:岡村 英明

安全な商品をお届けしたい!



シマダヤ  
品質保証部  
右:志賀 俊哉  
左:菊地 尚子

笑顔による商品作りがおいしい

# シマダヤグループの事業

家庭用事業

海外事業

業務用事業

## ● 家庭用事業

うどん・そば・中華麺・焼そば・パスタなどを中心に、一般家庭用麺(チルド麺、冷凍麺)をスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで販売しています。チルド麺の「さっと水でほぐすだけでゆでずに簡単に食べられる「流水麺」、冷凍麺の「自然な強いコシと圧倒的なしなやかさ、艶を実現した「手延べ勝り」うどん」などバラエティ豊かな商品を取りそろえています。

## ● 業務用事業

うどん・そば・ラーメン・パスタを中心とした冷凍麺を、従業員食堂や学校給食・高速道路のサービスエリア・パーキングエリアやレジャー施設などの外食業態、スーパーマーケットの惣菜や持ち帰り弁当などの中食業態向けなどに販売しています。2010年度から、健康に関する食材を盛り込んだメニューレシピ集「ベジ麺®」[麺テナンス®]をお客様に提案しています。

## ● 海外事業

東南アジア、北米、EU、オセアニアと35以上にわたる国や地域に外食市場向けの冷凍麺、ロングライフ麺を輸出しています。また、中国の大連にある現地企業に出資参加し、現地の嗜好やニーズに沿った業務用冷凍麺を販売し好評をいただいております。

## 目次

### 05 トップメッセージ

### 特集 “おいしい笑顔”をお届けするために

### 07 特集1 お客様満足向上への取り組み “エコ”でおいしい「流水麺」をお届けするために

### 09 特集2 自然環境を守るための取り組み エネルギーを大切にしたら、豊かな「食」づくりへ 環境にやさしく、資源をむだにしない生産ラインを構築

### 11 社会性報告

- 社会・地域と共に
- お客様と共に
- 子どもたちと共に

### 15 環境報告

- シマダヤグループの環境取り組みについて
- 中期環境目的・目標について
- 活動の内容
- 情報公開

### 22 第三者意見

#### ● 編集方針

シマダヤグループでは、ISO14001適用事業所で「シマダヤ環境マネジメントシステム」のもと環境活動を推進しています。本年度は「おいしい笑顔をお届けします」の経営コンセプトを実現するため、おいしさにとことんこだわるための取り組みと自然環境を守り続けるための取り組みを特集としてお伝えしています。

#### ● 対象範囲および対象分野

シマダヤグループのうち、シマダヤおよびISO14001適用事業所であるグループ会社の社会・環境活動について掲載しています。

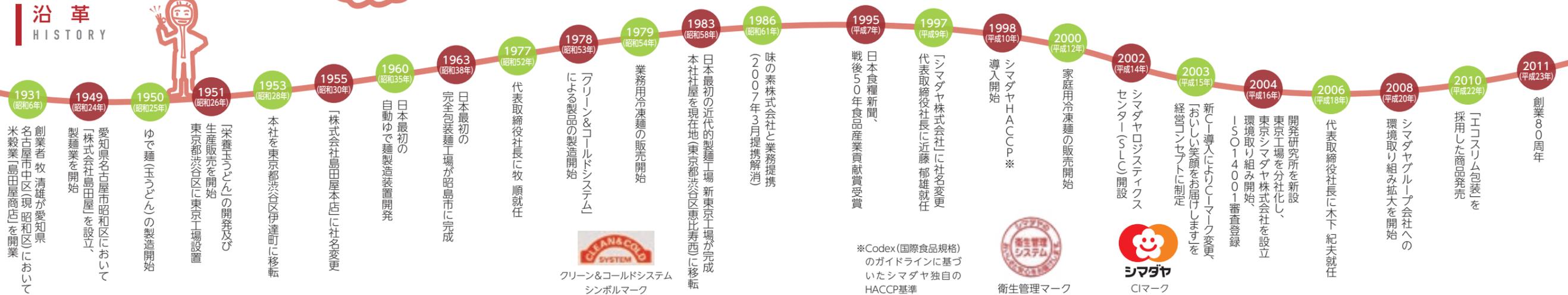
#### ● 対象期間

2013年4月から2014年3月(活動については直近のものも含む)

#### ● 発行

2014年9月発行

## 沿革 HISTORY



## シマダヤグループ概要 ISO14001適用事業所



**シマダヤ株式会社**  
 設立 1949年3月  
 資本金 10億円  
 代表者 代表取締役社長 木下 紀夫  
 従業員数 311名 (2014年3月末現在)  
 事業内容 種類及び関連食料品の販売  
 所在地 東京都渋谷区恵比寿西1-33-11  
 売上高 338億円 (2014年3月期)  
 事業所数 本社1、支店3、ロジスティクスセンター1、開発研究所1



**東京シマダヤ株式会社**  
 設立 2004年4月  
 所在地 東京都昭島市



**宮城シマダヤ株式会社 古川工場**  
 設立 1972年10月  
 所在地 宮城県大崎市



**埼玉シマダヤ株式会社**  
 設立 1971年8月  
 所在地 群馬県前橋市



**高砂食品株式会社**  
 設立 1964年2月  
 所在地 埼玉県深谷市



**宮城シマダヤ株式会社 郡山工場**  
 開設 1989年11月  
 所在地 福島県本宮市



**株式会社群麺センター**  
 設立 1988年10月  
 所在地 群馬県前橋市



**中部シマダヤ株式会社**  
 設立 1998年5月  
 所在地 岐阜県安八郡



**丸中製麺株式会社**  
 設立 1969年1月  
 所在地 滋賀県近江八幡市



**Es・Es・デリカ株式会社**  
 設立 2006年2月  
 所在地 千葉県松戸市

#### 表紙解説

お客様に「おいしい笑顔」をお届けするまでの工程と共に、多くの想いが詰まっていることをイメージデザインしました。





代表取締役社長

木下紀夫

Top Message

## 食の豊かさや健康による 価値を創出・提供し 事業と社会の結び付きを 強めていきます

### 廃棄麺とCO<sub>2</sub>排出量は目標以上に削減 余剰資材に課題を残した2013年度

この1年間、私たちシマダグループは、昨年度に引き続き中期環境目的・目標（2012年度～2014年度）に基づく環境保全への対応を進めてきました。これは、数値目標の達成を目指す削減項目と、環境会計の導入整備や地域貢献活動の推進等を重点テーマに掲げ、シマダグループによる取り組みを行うものです。

2013年度は、廃棄麺とCO<sub>2</sub>排出量の削減について、数値目標を上回る成果をあげましたが、余剰資材の削減については、昨年度に引き続き計画未達となりました。また、環境会計の導入に向けた動きは、管理部門を中心とした準備作業を全体に広げていく段階に差し掛かっています。

廃棄麺の削減は、特に冷凍麺において著しい削減実績をあげました。営業と連携した生産・在庫数調整が上手く機能した結果であります。CO<sub>2</sub>排出量の削減は、東京シマダ株式会社と宮城シマダ株式会社古川工場において実施した、ボイラー燃料のガスへの転換による効果が表れたものです。ガスボイ

ラーの導入は現在、生産子会社の約8割にまで広がりました。

一方、包装パッケージなどの余剰資材の削減は、依然として難度が高く、課題を残した状況です。天候変化と季節商品の終売時における販売予定の差異などが、余剰発生の原因です。意識改革と資材メーカーとの緊密な受発注調整により、改善が進んでいるものの、欠品を発生させることなく、完全に余剰を防ぐことは難しい面もあります。しかし、これは食品メーカーの宿命と捉え、今後も削減努力を継続してまいります。

### 社会変化の対応に向けた成長戦略にシフト 新たな転換点を迎えたシマダグループ

これまでシマダグループは、味の素株式会社との業務提携（1986年）、その解消による独立経営への転換（2006年）という2つのターニングポイントを経てきました。そして2014年度は、将来への新たな成長戦略に基づき、3番目のターニングポイントを迎える重要な年になります。

2014年度から私たちは今後目指していく「本場・本格志向」「健康志向」「時短・即食志向」という商品軸の生産体制を構築するために、3件のM&Aを実施しました。その成長戦略は、単身世帯の増加と人口の減少、長寿化による社会変化に対応し、従来の素材麺から加工度の高い麺類へ転換していくものです。

具体的な展開として、まず「本場・本格志向」については、都内有名ラーメン店とのコラボレーションにより、1年間かけて開発してきた商品を今秋から発売します。「健康志向」については、好評の「食塩ゼロ 本うどん」に続き、新たな商品を開発中です。そして「時短・即食志向」については、調理不要の調理麺による中食商品を投入する予定です。

もちろん、このように成長戦略を変化させていく中でも、品質とブランドについては、創業以来の「変えてはいけないもの」として、引き続き維持していかなくてはなりません。その上で、手軽に楽しめる食の豊かさや健康による価値を創出・提供していくことにより、今まで以上に事業と社会の結び付きを強めたいと考えています。

### 変化に合わせて内容・目標を見直しつつ 高い意識をもって担う社会・環境責任

成長戦略の変化により、これまで当社が取り組んできた環境保全活動についても、その内容や目標設定をあらためて見直す必要が出てきました。例えば、M&Aによりグループに迎えた会社とは、環境関連活動の水準が異なりますし、トレーを使用する調理麺の強化は、私たちが進めてきた省資源化の方向性と一致しないものです。

今のところ、現行の中期環境目的・目標については、これを活かして最終年度の活動を実施しつつ、2015年度から新たなスタートを切るための準備を進め、少しずつ舵を切っていく考えです。

シマダグループは、未来に向けて大きな転換点に差し掛かっていますが、食品メーカーとして担うべき社会・環境への責任については、引き続き経営上の重要テーマと位置付け、高い意識をもって取り組んでいく所存です。そして、世の中への貢献を通じて皆様のご期待に応えるべく、一層の努力を重ねてまいります。

2014年9月



お客様満足向上への取り組み

# “エコ”でおいしい「流水麺」をお届けするために

シマダヤは、お客様にご提供する商品の品質に徹底的にこだわり、改善を続けていくことが最高品質の「流水麺」をお客様にお届けするため、お客様満足向上を目指す部門の取り組みを

お客様満足や価値の創造につながると考えています。シマダヤを代表する“エコ”でおいしいをご紹介します。

CHECK!!

さまざまなお客様の声をいただいています

「楽ちんオープン」へのお客様の声

- 「パッケージの開封の件で一度お電話したことがあります。ビニールテープを剥がすのが大変でハサミを使って開封していました。その点が面倒で改善して欲しいとお伝えしました。そうしたらこのような開封口になっていたので、大変嬉しく思いました。」
- 「最近、パッケージが変わったのでしょうか。この切り口は面白いですね。パッと開けられますね。いつもハサミを使って開封していました。開けやすくなってとてもいいと思います。」

新商品「流水麺」冷し中華2食スープ付、「流水麺」ざる中華2食つゆ付へのお客様の声

- 「スープが付いたんですね。去年、スープを付けて欲しいと電話しました。去年は麺と別にスープを買っていたので一緒に入っていると助かります。暑い時期にお湯で茹でるなんて大変だから、こういう商品が主流になるんじゃないでしょうか。」



最高品質をお届けするため、日々品質確認を徹底しています！

「流水麺」は複数の工場で作られているため、工場間での品質格差(食感、ほぐれ性、味、麺厚など)が生じてしまう可能性があります。当然どこで工場で作ってもお客様には同じ品質の商品をお届けしなくてはなりません。そのため、家庭用商品企画部と研究開発部では毎週、全生産工場の商品を取り寄せて、工場間で品質に格差が生じていないかどうかをチェックし、共有しています。また、消費期限日の状態も同様に再チェックし、期限日までおいしく召しあがっていただけるレベルを保持しているかを確認しています。



シマダヤ 家庭用商品企画部 「流水麺」試食の様子

「流水麺」は、ゆでずにさっと水でほぐすだけで食べられる商品です。茹でる必要がないので、“火を使わない”、“お湯を沸かさない”手軽さに加え、環境にも配慮したエコな商品です。独自の技術と工場での厳しい衛生管理により、26年前「流水麺」は誕生し、毎年のように改良と開発を重ね進化してきました。ぜひ店頭で見かけた際はお手にとってみてください。



CHECK!!

「楽ちんオープン」で もっと便利になりました

2013年度より「流水麺」は、写真のように、切り口をつまみ上下に引っ張ることで、ハサミを使わず簡単に開封することができるようになりました！



「楽ちんオープン」への挑戦！

近年の食品業界には、商品を開封しやすくするためのさまざまな包材や技術があります。そんな中、シマダヤでは、不慮に破れにくく、調理時にはハサミを使わず簡単に開封できる「楽ちんオープン」に挑戦しました。完成までの道のりはとても険しく、

お客様にとって、どこから、どのように、どの位の力で開封できることが価値なのかということを念頭に、約1年半の月日を要し、ようやく「楽ちんオープン」が完成しました。実際にお客様から「ハサミを使わずに手で開けられて便利になった」とのお褒めの言葉をいただいた時には、技術者冥利に尽きると感じました。今後もお客様の満足を追求したものを開発できるよう精進していきます。

シマダヤ 研究開発部 石川 正智



「流水麺」そば 2人前

お客様一人ひとりの「声」を大切にしています！



シマダヤ お客様相談室長 川島 敏彦

シマダヤに寄せられる商品への問い合わせにおいて「流水麺」は、全体の約20%を占めており、もっとも多くなっています。

お客様の声は、その日のうちに「日報」として、グループ全体に発信しています。この他にお客様とのやり取りの中で対応した相談室員が「なるほど」と感じた事項を含めて、商品の改善に係わるお客様の声を毎月関連部門に伝えています。「流水麺」についても、「開けづらい」「ハサミを使わないと開けられない」などの声が寄せられておりました。

開封性の他にも、「流水麺」中華めんについては、去年は麺のみの商品であったことに対し、お客様から「スープを付けて欲しい」「スープが付いていると思った」などの声が寄せられておりました。



「流水麺」メニュー百選

検索

ぱぱっとおいしい簡単レシピをご提案しています！



「流水麺」をよりおいしく、より簡単に召しあがっていただくために、ホームページや売場のリーフレットで身近な食材や麺売り場の近くでそろえる関連商品を使った季節のメニューをご紹介します。火も包丁も使わない簡単なレシピなので、ぜひお子様と一緒に作ってみてください。



自然環境を守るための取り組み

# エネルギーを大切にしたら、豊かな「食」づくりへ 環境にやさしく、資源をむだにしない生産ラインを構築

「環境に配慮した商品作り」を推進するシマダヤグループにとって、生産現場における省資の効率化は、エコロジ的な観点だけでなく、原子力発電所の事故発生以降、高騰し続ける資源にせざる、豊かな「食」を生み出していく。私たちは、そのための仕組みづくりに力を入れ

源・省エネルギーの追求は、大きなテーマの一つです。特にCO<sub>2</sub>排出量の削減につながる熱源エネルギーコストへの対応としても重要性を増しています。エネルギーという自然の恵みを

## ガスボイラーの活躍で、燃焼効率は98%にアップしました。

シマダヤグループの生産子会社では、ガスボイラーの導入による重油からの燃料転換を進めています。茹で槽に蒸気を供給するボイラーは、大量の燃料を消費する「工場の心臓部」。よりエネルギー効率の高いシステムの導入が求められます。ガスボイラーの導入により、宮城シマダヤ古川工場では重油使用時に90%だった燃焼効率が98%に向上。東京シマダヤでも95%から98%に向上しました。

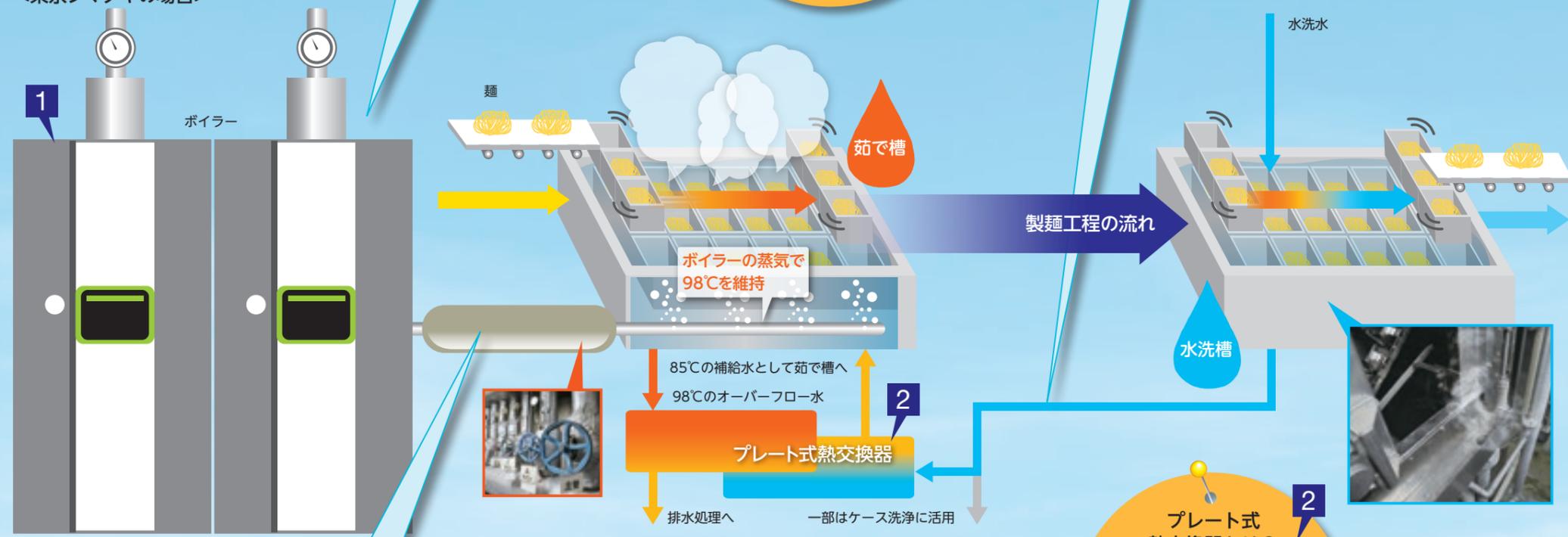
**CO<sub>2</sub>削減も！燃料転換の目的**

ガスボイラーは燃焼効率が  
高いため、CO<sub>2</sub>排出量の削減にも  
大きな効果を発揮します。  
これにより2013年度の  
中期環境目的・目標の達成に  
大きく寄与できました。

## 水洗水は回収し、排水の熱で温めて再利用します。

茹であげた麺は、水洗槽に移して水洗します。この水洗水は排水せずに回収し、茹で槽への補給水として再利用します。また、一部は麺を運ぶケースの洗浄にも利用します。回収した水洗水は、プレート式熱交換器を通じ、茹で槽からのオーバーフロー水により85℃に昇温され、茹で槽に補給。水も熱もむだにしません。

<東京シマダヤの場合>



## ボイラーからの熱を逃がさないように工夫し、稼働時間や方法も追求しています。

工場では、ボイラーの燃料転換だけでなく、エネルギー効率を高めるためのさまざまな工夫を行っています。蒸気を運ぶ配管やバルブ類は「ジャケット」と呼ばれる断熱保温材でカバーし、熱ロスを防いでいます。また、複数台数のガスボイラーのうち、1台を停機させた上で、中燃焼設定で炊きあげたり、稼働時間を調整するなど、ボイラーの最適な運用を追求し、エネルギー効率の最大化を図っています。

**プレート式熱交換器とは？**

波板状にプレス加工した  
金属板を重ね合わせたもの。  
その間を温度差がある2つの液体や  
気体が流れることで、  
冷たい方を熱し、熱い方を冷やす  
というように、双方の熱を  
交換する仕組みです。



**環境にやさしい、資源をむだにしない生産ラインづくり**  
東京シマダヤ 製造課  
佐田 幸延

東京シマダヤでは、2013年10月よりボイラー燃料を重油からガスに転換しました。この工事は、温室効果ガス排出総量削減義務に対応したCO<sub>2</sub>削減と近隣住民の皆様に対する騒音対策を目的としています。これにより、CO<sub>2</sub>は年間1,419t削減することができます。騒音も、騒音規制法の深夜帯規制基準をクリアすることができます。また工事に際しては近隣住民の皆様への説明会を行い、無事問題なく終了することができました。



**クリーンエネルギーで、おいしいうどんをつくる**  
宮城シマダヤ古川工場 技術課  
仙石 光一

宮城シマダヤ古川工場では、2014年1月より、環境改善の一環として、重油炊きボイラーからガス炊きボイラーに切り替えました。その結果CO<sub>2</sub>を28%削減し、ボイラーからの騒音・ばい煙も低減することができました。また、ガスは重油より熱量が高いため使用するエネルギーも削減できました。これからも、設備の更新・導入時の評価項目に環境に配慮された設計・構造になっているかを積極的に検討し推進していきます。



## さらに安全・安心な商品の提供を推進します

### シマダヤグループ工場 FSSC22000への取り組み開始



FSSC22000取得に向けての方針説明会の様子

シマダヤグループ工場では、お客様に「安全・安心」な商品をお届けするため、これまで独自の認証システム「シマダヤHACCP」に基づき、安全な商品作りに取り組んでいました。さらに商品の「安全・安心」への信頼性を高め、レベルアップしていくため、2014年1月新たにFSSC22000に取り組む方針を示しました。今後は、この取得に向けて、シマダヤと各グループ工場が協力して活動に取り組めます。

また、グループとしての品質保証の仕組みの向上を推進していきます。

※FSSC22000 (Food Safety System Certification 22000の略)  
食品安全マネジメントシステムの国際規格であるISO22000と、ISO22000の前提条件プログラムの一部を具体化したISO/TS 22002-1および追加要求事項を統合したもので、GFSI(Global Food Safety Initiativeの略)が承認したスキーム。2014年4月2日現在の認証件数は、全世界で8,017件、日本国内で654件に上る。

※GFSI  
世界中の小売業、メーカー、フードサービス業ならびに食品サプライチェーンに関わるサービス・プロバイダーから業種を超えて食品安全専門家が集まり、協働して食の安全に取り組む組織。世界的な企業が会員となっており、日本の企業でも大手企業などが会員となっている。

## 企業の社会的責任を守ります

### 安全運転講習会の実施



安全運転講習会の様子

シマダヤでは、営業社員および新入社員に、安全運転の知識習得を目的として安全運転講習会を行っています。内容は運転適性検査と外部講師による安全運転の講義です。これにより、業務で車両を使用する社員一人ひとりの交通安全意識の向上と事故防止に努めています。



### 安全運転講習を受講して

シマダヤ  
家庭用広域営業部  
島村 文彬

VOICE

安全運転講習を受講して学んだことは、社用車を運転するという自覚を一人ひとりがしっかりと持たなければならないということです。交通事故を起こしたり、ルールを破るといったことは、シマダヤブランドの価値の低下に繋がってしまいます。

私たち社員は、今回の講義で得た知識を活かし、シマダヤのブランドを背負って運転するというのを忘れずに、安全運転を実施していきたいと思えます。

んでおり、この訓練に「流水麺」を支援物資として提供しています。東京シマダヤは、今後も地域と一体となった社会貢献活動に積極的に参加していきます。



本社防災訓練の様子

害を想定した訓練となりました。避難訓練終了後は消防署員の指導により、救命講習(AED訓練・包帯法訓練)を行いました。いつ起こるか分からない巨大地震や救命処置に備えて、学んだことを今後生かしていきます。

## 地域との関係を大切にしています

### 第68回国民体育大会 ~スポーツ祭東京2013~ への協力



「けんちんうどん」提供の様子

昭島市では2013年10月に「スポーツ祭東京2013」の軟式野球大会が開催されました。東京シマダヤは、この会場で「けんちんうどん」の無料提供を行いました。「けんちんうどん」は、大好評で、4日間で3,500食を提供しました。工場としてお客様から直接お話を聞く非常に良い経験ができました。また、今回の協力に対し、昭島市長より感謝状をいただきました。

### 「宮城シマダヤ夏祭り」開催

宮城シマダヤ古川工場では、創業以来毎年8月に、従業員とその家族、地域住民、取引先関係者を招き、「宮城シマダヤ夏祭り」を開催しています。その来場者数は年々増加し、現在は約800名の方がお越しくださるようになりました。屋台にて焼そば、流しそうめん、フランクフルト、ナポリタン、飲み物を自由にお召しあがりいただきながらゲーム、余興で楽しい時間を過ごしていただいております。これにより、地域コミュニケーションを図り、企業活動への理解を深めています。



「宮城シマダヤ夏祭り」の様子



恵比寿駅前広場の様子

### 全恵比寿納涼盆踊大会 提灯協賛

シマダヤでは、毎年7月に開催される全恵比寿納涼盆踊大会に提灯を協賛しています。

この時期になると恵比寿駅前広場にやぐらが建てられ、駅前周辺にはたくさんの提灯が吊るされます。シマダヤは今後も地域活動に積極的に取り組んでまいります。

### エコキャップ回収活動、使用済み切手の収集活動の推進

宮城シマダヤ郡山工場では、エコキャップ回収活動のさらなる意識を高めるために、従業員が「地球に愛を子供に愛を」のタスキ姿で改めて社内に呼びかけを行いました。これにより回収意識が向上、これまでに75人分のワクチンを届けることができました。今後も、1人でも多くの子どもたちにワクチンを届けるため推進活動を継続していきます。

丸中製麺では、使用済み切手の収集活動を行い、シマダヤ本社を通じ、公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会および公益財団法人ジョイセフに寄贈しております。今後も収集活動を通じて、発展途上国や福祉施設への支援を継続していきます。



エコキャップ回収活動の様子



## お客様の声を大切にしています

### お客様相談室の取り組み

2013年度は「お客様対応の心得」を作成して、お客様に「電話をして良かった」と思っただけのように、お客様一人ひとりの声に誠実かつ正確に、真摯に対応させていただきました。

### お客様対応の心得

- わたくしたちは、「シマダヤの企業理念」、「シマダヤグループ行動規範」、「シマダヤ品質基本方針」、「シマダヤCI」を十分に理解してお客様対応します。
- わたくしたちは、常にお客様目線でお客対応します。
- わたくしたちは、シマダヤファンになってもらうようお客様対応します。また、シマダヤファンのお客様には、ますますシマダヤファンになってもらうようお客様対応します。

### お客様の声(「本生」ラーメンについて)

「表示を見ると原材料に卵は使用していないようですが、子どもに食べさせるので念の為に確認の電話をさせていただきました」

「卵のアレルギーがあるお子様は多くいると思いますので、今後もこの商品を続けてください」

### お客様の声を生かした商品作り

アレルギーに関するお問い合わせでもっとも多いのが卵アレルギーです。子どもが大好きなラーメンは、原料に卵が使われることが多く、卵アレルギーのお子様を持つお母様からの多くの声を真摯に受け止めさせていただきました。

- 生ラーメン類について、購入の際にアレルギー物質の表示が容易にわかるように、現状記載されている裏面と共に表面の賞味期限の下にもアレルギー物質の表示を記載するようにしました。
- 「本生」ラーメンについては、引き続き卵を使用しないことにしています。



注)表示は製品により異なります

## 健康、高齢社会への取り組み

シマダヤグループでは、現代の高齢社会において需要が高まっている“健康”への取り組みに着手しています。



「食塩ゼロ 本うどん1食」

### 塩分を気にされるお客様へ

シマダヤの調査では、健康を意識する中で“塩分を控え薄口の味付けを心がけている”生活者が多いことが分かっています。この背景には、脳卒中や心臓病など、生命に関わる病気を引き起こすもっとも主要な原因となっている高血圧の予防には、食塩制限が重要とされていることにあります。そうしたニーズに向け、2013年度は“減塩商品”の強化に取り組みしました。

日本では塩分の摂取がまだ多く、一般の方の食塩摂取量について、男性は9.0g未満/日、女性は7.5g未満/日

とされている中、日本高血圧学会は6.0g未満/日を推奨しています。食塩摂取量を気にされる方にとって、茹でうどんに含まれる1.0~2.0gの食塩は重大であり、そういった方々にもおいしいうどんを食べていただきたいと食塩ゼロのうどんを開発しました。うどん本来の食感を食塩ゼロで再現しており、食塩制限されている方にも、そうでない方にもおいしくお召しあがりいただけます。シマダヤでは、お客様の健康志向に応える商品作りを引き続き取り組んでまいります。



## 子どもたちへ麺の良さを伝えています

### 継続したキャリア教育支援

シマダヤでは、2012年度から渋谷区立猿樂小学校の5年生に「麺職人」になるためのお手伝いをさせていただきました。おいしい「手打ちうどん」が作れるようになりました。

その子どもたちが6年生になり麺についてさらに勉強したいという要望をいただき、2013年度は「商品開発」をテーマに、新商品の開発について取り組みました。そこで子どもたちは9つの新商品案を考え、手で持って食べられる「おせんべい麺」を完成することができました。

2年間、麺についての学習に取り組み、「卒業を祝う会」でお世話になった先生や保護者の方々に「おせんべい麺」を食べてもらいました。子どもたちの気持ちが込められた「おせんべい麺」は大好評でした。

※キャリア教育の定義:中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」(2011年1月31日)より抜粋  
一人ひとりの社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

手打ちうどん作りの様子



### 子どもたちの考えた9つの新商品案

- スイーツ麺 ワールド・トッピング
- 七色麺
- スープ(魚介、トンコツ、しょうゆ味) ザ・シルズ(汁ズ)
- さっぱりおいしい冷麺
- 太らない、おいしい、ヘルシーなカラフル麺
- イタリア風カレーうどん「うど☆リアン」
- 体に良い栄養練込麺
- 串うどん=おでんうどん
- 「おせんべい麺」



「おせんべい麺」

### 地域小学校の工場見学の受け入れ

お客様は商品の安全だけではなく安心についても期待されています。シマダヤの商品のおいしさ、安全・安心を理解していただくために工場見学はとて有効と考えています。

東京シマダヤでは、昭島市内の小学校の工場見学を継続的に受け入れています。見学では、パンフレットの配布、タブレットの使用や、待ち時間を有効活用するなどの工夫をこらし、内容を充実させています。

宮城シマダヤ郡山工場においても、地域の小学校の工場見学を毎年受け入れています。2013年度は計5校297名の子どもたちに食育およびシマダヤとしての安全・安心な商品作りへの想い、環境への配慮と取り組みを伝えることができました。

### 夏休み 従業員家族 製麺教室 & 工場見学



エアシャワー体験の様子

シマダヤでは、前年に引き続き、今年で2回目となる夏休み 従業員家族 製麺教室&工場見学を開催しました。参加者も増し、製麺教室では“麺に関するノウハウ”や“うどんのおいしさについて”の説明を聞き、その後、手打ちうどんを作って試食しました。工場見学では、製造機械の説明を聞き、途中エアシャワーの体験を行うなど、子どもたちは大喜び。家族で過ごす楽しい夏休みの思い出となり、普段とは違った社内コミュニケーションが図れました。

タブレットを使用している様子



会議室での説明の様子



充実した工場見学を目指して  
東京シマダヤ 総務課 恩田 英紀



見学に来た子どもたち(お客様)に喜んでもらうということは、工場としても、とても励みになります。これからもシマダヤの商品のおいしさ、安全・安心を伝えるためにさまざまな工夫をしていきたいと思っています。



# シマダヤグループ環境マネジメントシステム

## シマダヤグループ環境基本方針



小麦とそばと塩と水。「めん」は自然の恵みそのものです。  
シマダヤグループは、自然環境と企業活動の調和の重要性を認識し、めんを中心とする事業活動を通して環境保全に取り組み、健全で豊かな社会の実現に貢献します。

### 1. 環境関連法規の遵守

社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。

### 2. 資源、エネルギーの有効利用

資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組み、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。

### 3. 継続的な環境改善

事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。

### 4. 環境保全意識の醸成

情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。

### 5. 情報の公開

環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。

2004年1月19日制定

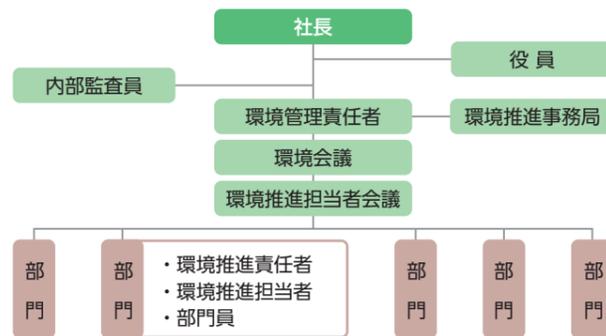
2008年6月25日改訂

シマダヤ株式会社 代表取締役社長 **木下 紀夫**



## 環境推進体制

環境推進組織図



シマダヤグループでは、「シマダヤグループ環境基本方針」のもと中期環境目的・目標(2~3年)を掲げ、それを達成させるために、各部内で業務に沿った目的・目標を設定し取り組んでいます。

### 活動の推進役と役割

全社の推進役	社長	全社の活動の最高責任者(シマダヤの代表取締役)
	環境管理責任者	全社の活動の責任者(シマダヤの取締役)
	環境推進事務局	環境管理責任者の補佐(複数部門から選任)
部門の推進役	環境推進責任者	部門活動の責任者(活動の単位の部門長、グループ会社は社長、工場長など)
	環境推進担当者	部門活動のリーダー
事業所の推進役	事業所責任者	複数部門が属するシマダヤの事業所の責任者

## 【シマダヤグループ中期環境目的の方針】(2012年度~2014年度の方針)

グループ全体方針:「安全・安心、環境に配慮した商品で、おいしい笑顔をお届けします」

~ 一人ひとりが、仕事や生活の中で環境のことを考えた行動をします ~

- ◆ 生産部門方針:「資源・エネルギーを有効に使い、効率的に生産します」
- ◆ 営業部門方針:「資源・エネルギーを有効に使い、環境に配慮した商品を販売します」
- ◆ 管理部門方針:「環境活動をさらに推進します」



# 中期環境目的・目標 (2012年度~2014年度)

## 中期環境目的・目標 2013年度結果

重点テーマ 1 廃棄物の削減 関連ページ ▶ P.17

	目的	2013年度目標	2013年度実績	評価
グループ会社	廃棄物削減	24.5%削減	31.4%削減	○
	原単位31.0%削減(2010年度比)	3.58kg/千食	3.26kg/千食	
シマダヤ	冷凍製品の日付後返品削減	38.0%削減	61.7%削減	○
	廃棄量40.0%削減(2010年度比)	8.18t	5.08t	

重点テーマ 2 CO<sub>2</sub>排出量の削減 関連ページ ▶ P.17, P.18

	目的	2013年度目標	2013年度実績	評価
グループ会社	CO <sub>2</sub> 排出量削減	7.0%削減	8.0%削減	○
	原単位9.0%削減(2010年度比)	33.05t-CO <sub>2</sub> /千食	32.70t-CO <sub>2</sub> /千食	
シマダヤ	環境配慮型商品の拡売におけるCO <sub>2</sub> 排出量削減	販売食数113.7%(2012年度比) 3,386t-CO <sub>2</sub> 削減	販売食数114.1%(2012年度比) 3,621t-CO <sub>2</sub> 削減	○
	輸配送における環境負荷の低減	特定工場配送便のCO <sub>2</sub> 13.0%削減(2010年度比原単位)	特定工場配送便のCO <sub>2</sub> 15.3%削減(2010年度比原単位)	○

※工場算定範囲:東京シマダヤ、宮城シマダヤ、中部シマダヤ、エス・エス・デリカ、埼玉シマダヤ、群衆センター、高砂食品  
※丸中製麺は中期環境目的・目標には含まず、別途評価する。※原単位は、千食製造または販売当たりの数値

重点テーマ 3 容器包装重量の削減と資材の有効活用 関連ページ ▶ P.19

	目的	2013年度目標	2013年度実績	評価
シマダヤ	余剰資材削減 総売上金額の0.07%以内	余剰資材(スープ・フィルム) 総売上金額の0.08%以内	余剰資材(スープ・フィルム) 総売上金額の0.12%	×

重点テーマ 4 環境会計の導入整備と環境教育の推進 関連ページ ▶ P.19

	目的	取り組んだ内容	評価
シマダヤおよびグループ会社	2015年度に環境会計を公開する準備を行う	シマダヤグループ2012年度の環境会計および評価表を作成。また他社の環境会計公開状況の情報収集を行い、当社の公開形式を協議、公開(案)を作成し社内へ答申。	○
シマダヤ	環境教育実施による社員環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新入社員研修、環境推進担当者研修会、eco検定対策講座、新任管理職研修を実施</li> <li>●環境教育体系の検討を進め、役割について整理</li> </ul>	○

重点テーマ 5 地域貢献活動の推進 関連ページ ▶ P.12, P.14, P.20

	目的	取り組んだ内容	評価
シマダヤおよびグループ会社	地域貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●シマダヤの事業所および各工場周辺の清掃</li> <li>●近隣小学校で麵作り教室を開催</li> <li>●工場見学を受け入れ</li> <li>●各種資源の収集および寄付活動を実施</li> </ul>	○



重点テーマ

1

## 廃棄麺の削減

### トッピングソース廃棄量の削減

宮城シマダヤ郡山工場では、冷凍調理麺のトッピングソースの廃棄量を削減する改善を行いました。従来は、ソース充填工程の中で、麺の有無に関わらず常時、ソースが投入され廃棄がありました。そこで、麺を識別センサーにて検知し、麺がない場合はソースが投入されないシステムの改善を行いました。これにより月平均15,000円の削減となりました。また、廃棄ソースは清掃後排水

と一緒に污水处理施設にて処理されますが、処理の負荷の軽減にもつながります。今後も、製造ラインでのロス削減に取り組み環境改善を行ってまいります。



ソース充填ライン

### 従業員モチベーションアップ策と社内教育での共有化による廃棄麺の削減



工場内に掲示されているランキング表



プロジェクターを使用し教育する様子

高砂食品では、廃棄麺削減への取り組みとして、機械操作調整作業において、各個人が削減・達成目標を決め、その成績をランキング形式に可視化を行いました。これにより、目標の数値管理が可能となり、新人、ベテランも区別なく評価されるため、全員のモチベーションアップにつながり廃棄率削減が進みました。また、切り出し作業では、ミキサー麺機のロール隙間調整の標準化を実施しました。さらに、これを調整する隙間ゲージの使用方を対象者全員に社内教育で共有、理解してもらいました。その結果、新人もベテランと同じように最初からロスを出さずに切り出せるようになり、廃棄麺削減が図れました。

### 茹で蒸し工程の省エネルギーシステムの工場への導入

シマダヤ研究開発部では、熱交換器を用いた投資効果の高い省エネシステムを提案し、グループ5工場に導入しました。

蒸し麺、茹で麺ラインでは、熱交換した水を使用することにより昇温分の蒸気量を削減しました。また、東京シマダヤでは、従来使用後に排水していたものを再利用することにしました。さらに、群麺センターでは、熱交換した水をタンクに貯湯し翌日使用することで昇温分の蒸気量を削減しました。これらにより群麺センターで

ガス15%、東京シマダヤでA重油13%、水道光熱10%、丸中製麺でガス7%、中部シマダヤA重油7%の削減効果を出しました。

設備費用に関しては、従来適用外だった経済産業省資源エネルギー庁公募の「次世代型熱利用設備導入緊急対策事業」の助成金(1/2支給)を適用に結び付け、費用の削減を実施しました。

※削減のパーセンテージは2012年度工場燃料費比、水道光熱費比

### 排水処理場の散気管改善による電気使用量および汚泥排出量削減

群麺センターでは、散気管の老朽化による配管内の汚泥の詰まりにより、ターボブロアが過負荷(80kwh)になり省電力効果が少ない状態でした。この改善策として、外部業者による老朽化した散気管の交換および配管内の清掃を検討しました。しかしながら、多額の費用がかかることから、自社にて散気管の修繕を行いました。これにより①電気使用量約20%②汚泥発生量約20%の削減となり環境負荷低減に貢献しました。



改善前の散気管



改善後の散気管

重点テーマ

2

## CO<sub>2</sub>排出量の削減

### 現場主義で考える節電対策

エス・エス・デリカでは、冬場、空調の設定温度を22℃としました。この対策として、作業着の下に吸湿発熱ウェアを着用することにしました。これにより、室温に関する要望はなくなり、節電意識の浸透が図れました。これからも、現場からの要望に傾聴し、全社一体となり節電意識向上を目指していきます。

### 省エネ型自動販売機を導入

中部シマダヤでは、2台の自動販売機の見直しを実施し、新たに省エネ型自動販売機を導入しました。これにより、年間で電気使用量74.0%、CO<sub>2</sub>排出量1,050kgの削減量が期待できます。

### 茹で槽温度センサーの位置適正化による重油およびCO<sub>2</sub>の削減



蒸気流量計

宮城シマダヤ郡山工場では、ボイラーの蒸気ヘッダー出口にラインごとの蒸気流量計および記録計を設置し蒸気流量の可視化を行いました。これにより、蒸気の負荷状態、使用量を分析したところ、変動が激しいラインが発見されました。その原因を探ると、温度センサーが給水シャワーの真下にあり、蒸気流量が安定しないことが分かりました。そこで、センサー位置を変更して流量を安定させたことでボイラー負荷が一定になり燃焼を安定させ重油使用量を削減することができました。今後もむだなく効率よく生産することで環境負荷を低減していきます。



### 重点テーマ 3 容器包装重量の削減と資材の有効活用

#### 「エコスリム包装」拡大の取り組み

2013年の5月～6月の間、トレーの無い「エコスリム包装」商品をより多くのお客様に知っていただくため「エコなプレゼントキャンペーン」を実施しました。3食「ざる麺」をはじめとする「エコスリム包装」商品計11品のうち、3枚のバーコードを集めご応募いただくと、抽選で計1,000名様にエコグッズが当たるといったキャンペーンで、たくさんのご応募をいただきました。

2014年2月には、「エコスリム包装」商品に「鉄板麺」2品が加わり、2010年度の発売以降ラインナップを拡大してまいりました。シマダヤは引き続き「エコスリム包装」商品の拡大に向けて取り組み続けるとともに、環境に配慮した商品開発を推進していきます。



「エコなプレゼントキャンペーン」応募ハガキ

### 重点テーマ 4 環境会計の導入整備と環境教育の推進

#### 環境会計の導入整備について

シマダヤグループでは、環境保全活動の情報公開の一環として「2015年度に環境会計を公開する準備を行う」という重点テーマに基づき、導入準備を進めています。これに伴い2013年度は、シマダヤグループの環境会計

および評価表を作成しました。また、他社の公開状況の情報収集を行い、シマダヤグループの公開形式を協議、公開(案)を作成し、社内に答申しました。

#### 環境教育の推進について

シマダヤでは、ISO14001の環境マネジメントシステムの理解を深めるため、新入社員に対しシマダヤグループの環境取り組みについて継続的な研修を行っています。また、今年度から環境推進担当者全員と新任の環境推進事務局員を対象に研修会を実施しました。さらに、シマダヤグループの中堅社員に対する研修を実施しました。

このような教育への取り組みによりISO14001を通じて環境に対する知識・意識の向上に努めています。また環境社会検定試験®(eco検定)の受験を推奨し、環境推進事務局では、環境社会検定試験®(eco検定)対策講座を開設して合格に向けたバックアップをしています。2013年度はグループ全体で57名が合格しました。(環境社会検定試験®は東京商工会議所の登録商標です)



VOICE

**eco検定合格者の声**

2013年12月(第15回検定)合格



シマダヤ 家庭用商品企画部  
**川村 優希**

環境についての知識を深め、実際に社会に貢献できればと思い受験しました。勉強方法は、まず過去問を解き、理解ができていない分野を中心にテキストを読み込みました。また机上の知識だけでなく、エコプロダクツ展へ行き、実際に「環境」に触れることでより理解を深めることができたと思います。eco検定は、環境について学ぶ良い機会です。自分のためになることだと思いますので、皆さんも受験されることをおすすめします。

### 重点テーマ 5 地域貢献活動の推進

#### 地域河川の定期的清掃の実施



VOICE



**宮城県「県北食品エコフォーラム」に参加、主導的立場でリード**

宮城シマダヤ古川工場 技術課  
**中鉢 浩美**

宮城県では、環境生活部環境政策課の資源循環コーディネーターが参加を募り、県北の食品会社7企業が賛同して「県北食品エコフォーラム」が発足し、この活動の幹事(事務局)を務めました。幹事の役割は大変でしたが、運営上の問題点を改善させるなど地域の資源循環活動に貢献することができました。また宮城県県北地域における食品企業の資源循環活動に対する意識・推進活動の向上を図ることができました。

宮城シマダヤ古川工場では毎年、鳴瀬川と合流する河川の定期清掃を実施しています。古くから人々の暮らしに多くの恵みと潤いを与えている鳴瀬川の清流を次世代に引き継ぐため、今後も、河川の定期清掃を継続し河川環境の美化意識を高めてまいります。



#### 工場周辺地域の定期的清掃の実施

埼玉シマダヤでは、月1回継続して工場周辺、隣接河川沿いの遊歩道の清掃をしています。当初ゴミ拾いからスタートし、現在は草取りも行っています。遊歩道を散歩する人、出勤する人、さまざまな方がきれいで気持ち良く感じられる環境を目指しています。きれいになった結果、ポイ捨ての減少につながっています。通行される方々との挨拶も自然に交わされ、地域の方々に喜ばれ、役に立つ、そんな活動を続けています。



#### おおくれがわ 大樽川をきれいにする活動に参加



大樽川に浮かぶ花いかだの様子



岐阜県安八郡輪之内町では、大樽川の水質を改善し、透明感のあるきれいな河川にする「輪之内町地域協働水質改善協議会」が発足しました。中部シマダヤはそのメンバーとなり、協議会に出席しています。きれいな透明感のある河川にするための、花いかだづくりや導水実験に立ち会うなど、地域と一体となってきれいな大樽川を取り戻す活動を行っています。



## 内部コミュニケーション

### 「社会・環境活動表彰」開始

シマダヤグループでは、2012年度よりグループ全体で行われた社会・環境活動を対象に「社会・環境活動表彰」を設け、優れた活動を行った団体・個人を表彰することを開始しました。2013年度は26件の応募の中から、7件の団体活動を選出し、7月に表彰式を行いました。

「社会・環境活動表彰」は、従業員一人ひとりの社会・環境活動に対する参画意識を高め、社会・環境活動への

モチベーションを向上することを目的として、新たに創設しました。社会・環境取り組みにおいて、身近な取り組みをグループ内で共有・展開し、活動の活性化を図ります。



受賞した群麺センター 製造部 工務主任 関口 洋一

### 2013年度「社会・環境活動表彰」

受賞者	活動内容
1 株式会社群麺センター製造部	内部作成の創意工夫による排水処理場の散気管改善
2 宮城シマダヤ株式会社古川工場包装種グループ	L L 麺茹で槽保温材使用による蒸気量削減と内部制作によるコスト削減
3 宮城シマダヤ株式会社郡山工場製造課・技術課グループ	茹で槽温度センサー位置適正化による重油使用量・CO <sub>2</sub> 排出量の削減
4 高砂食品株式会社製造部	ミキサー麺機ロールの隙間調整標準化と社内共有によるロスの削減
5 東京シマダヤ株式会社総務課	スポーツ祭東京2013 第68回国民体育大会参加による社会貢献
6 東京シマダヤ株式会社総務課	工場見学受け入れ、実施による社会貢献
7 宮城シマダヤ株式会社郡山工場総務課	工場見学受け入れ、実施による社会貢献

## 外部コミュニケーション

### グループ全体のISO14001審査登録状況

シマダヤグループでは、グループ会社8社9工場がISO14001適用事業所として登録されています。グループ全体の環境意識向上、環境法令順守に向け、「シマダヤグループ環境基本方針」のもと、同じ環境マネジメントシステムで取り組みを行っています。

### ISO14001適用事業所

社名	登録日
東京シマダヤ株式会社	2004年 7月16日
宮城シマダヤ株式会社	2009年 3月23日
中部シマダヤ株式会社	2009年10月16日
エス・エス・デリカ株式会社	2009年10月16日
埼玉シマダヤ株式会社	2010年 2月23日
高砂食品株式会社	2010年11月30日
株式会社群麺センター	2011年 2月28日
丸中製麺株式会社	2012年 2月28日

審査登録機関名：(財)日本規格協会審査登録事業部 / 登録番号：JSAE902

シマダヤ株式会社 登録日：2004年 7月16日 登録範囲：麺類及び関連食品の研究開発、製造並びに販売

### 「エコほっとライン」に「社会・環境報告書2013」を掲載

シマダヤグループでは、企業が発行するCSRレポート、社会・環境報告書を無料で請求できるサイト、「エコほっとライン」に「社会・環境報告書2013」を掲載しました。これはサイト利用者から請求があった場合、報告書を発送するサービスです。これを通じて今後、さらに一般消費者へ広く配布することを目的としています。大学生の就職活動や今後の報告書作成にも活用できると考えられます。

エコほっとライン



シマダヤ株式会社 取締役 人事総務部長 (環境管理責任者)

相馬 紳一郎

### 第三者意見を受けて

古谷由紀子氏には、今年も貴重なご意見、また、当社グループの環境取り組みの評価をいただき厚く御礼申し上げます。2013年度におきましても、中期環境目的・目標を達成すべく当社各部門、グループ会社夫々で取り組みを進めてまいりました。廃棄麺やCO<sub>2</sub>排出量の削減について成果を出すことができていない目標についても、今後努力を継続していく所存です。環境教育についても内容を検討し、整理し、引き続き実施して行くことにより環境取り組みに対する意識向上を図っていきたく考えております。またご意見にありますように、社会的責任の考え方や取り組みについて、当社グループとしてどう進展していくかの検討が必要と考えます。2014年度には新たにグループに迎えた会社がありますので、今後ともシマダヤグループとして社会・環境への責任を重要テーマとして取り組んでまいります。

### 環境の取り組みがさらに前進

貴グループの環境への取り組みが一段と進み、成果も着実にあげています。特に、廃棄麺やCO<sub>2</sub>排出量の削減について、目標をはるかに超えて達成したことが評価されます。環境マネジメントシステムをもとに、重点テーマを掲げ、部門を中心に社員が一丸となって、取り組んできた結果と言えます。またこれらの取り組みを中期環境目的・目標として数値で情報開示をしていることは優れた取り組みです。さらにトップメッセージにおいて、包装パッケージなどの余剰資材の削減が計画未達になったことに触れ、難度が高いと率直な感想を述べながらもその原因にも言及し、さらなる挑戦を継続するとの発言は真摯な企業姿勢と感じます。

### 環境教育の充実とさらなる発展を期待

貴社では新入社員や環境推進担当者への環境教育について、検定試験など具体的な目標を定めて実施していることが貴グループの環境取り組みを支える力になっていると思われまます。今後は他の社員やグループなどにも拡大し充実していくとともに、それらの知識を地域

に還元する活動を期待します。現在、消費者庁を中心に、2012年に成立した消費者教育推進法をもとに、持続可能な社会に貢献する消費者教育が推進されています。学校や工場などで機会を見つけ実践を期待します。

### ISO26000の導入やステークホルダーダイアログなどの検討を期待

貴グループのこれまでの取り組みをさらに進展させるために、ISO26000(社会的責任の手引き)の導入を検討されてはどうでしょうか。そこでは現在の組織に求められる社会的責任の考え方や取り組み内容・方法などが盛り込まれています。貴グループでは環境についての優れた実践例がありますので、これをもとに他の取り組みに拡大発展することは容易だと思われまます。またISO26000ではステークホルダーとの関係性も重視されています。ダイアログ(対話)によって、貴グループの取り組みを多くのステークホルダーに知ってもらおうと同時にステークホルダーに評価してもらうことも貴グループの社会的要請にさらに対応することにつながるものと考えまます。